

# ★チャレンジ!夢に向かって★

～ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成～

## 交通ルールを守り、安全な生活を!!

昨日の2校時に全校児童を対象に交通安全教室を行いました。1・2年生を中心とした歩行グループは、学校周辺の道路を実際に歩行し、交差点の渡り方や安全確認の仕方、安全な歩行の仕方について学びました。3～6年生の自転車グループは、6年生の〇〇〇〇さんの模範運転の後、駐車場やグラウンドの特設コースを使い、実際に自転車に乗りながら安全確認の仕方や自転車操作の仕方等を学びました。



交通安全教室には、大仙警察署太田駐在所の〇〇〇〇さん、大仙地区交通安全協会の〇〇〇さんが参加してくださり、交通安全についてのお話や実技コースで子どもたち一人一人に丁寧な指導をしていただきました。最後には、6年生の〇〇〇〇さん、5年生の〇〇〇〇さん、4年生の〇〇〇〇さん、3年生の〇〇〇〇さんが交通安全教室を振り返り、感想発表をしました。

交通事故は、誰にでも起こり得ることです。だからこそ、交通事故にあわないようにするために気を付けて生活することが大切になります。

交通安全教室の際、私からは「43」という数字について説明しました。これは、秋田県内で令和5年に起きた子どもの自転車運転中の交通事故による死傷者数です。この中で、小学生は5名で、ヘルメットを着用していない小学生は3名でした。ヘルメットの着用については、県内ではまだまだ定着していないように思います。

続いて、交通事故にあわないために「交通安全ABC」を紹介しました。

### A 当たり前のことを B ぼんやりしないで C ちゃんとやる

交通安全は、「当たり前のことを、ぼんやりしないで、ちゃんとやる」ということです。先日、大仙警察署スクールサポーターの〇〇〇〇〇さんが本校を訪問した際、子どもたちの交通事故で一番多いのが、道路への飛び出しだと話していました。止まるところは止まる、車が止まったのをしっかり確認する、飛び出しはない、自転車に乗るときはヘルメットをかぶるなど、「当たり前のことを、ぼんやりしないで、ちゃんとやる」ことを子どもたちには徹底していきたいと考えています。また、最近は小・中学生が自転車で歩行者を傷つけてしまう事故も起きています。命を守るということは、自分も他人も守らなければいけないことを、交通ルールとともに理解させる必要があると思います。子どもたちが交通ルールを守り、安全な生活をする事ができるよう、御家庭でも指導をお願いします。